川上 高司 ブログ アーカイヴ

2016年

4月5日

本気度が高いシリア会議

シリアの停戦が始まって 1 ヶ月が過ぎようとしている。ロシアとアメリカはこの 1 ヶ月でシリアの政治プロセスの構築に力を注いできた。アメリカとロシアがシリアの和平にかける意欲はこれまでになく高まっている。

3 月に入ると、ジョン・ブレナン CIA 長官がモスクワを訪れた。続いてケリー国務長官がモスクワへ飛びプーチン大統領と会談、さらに後を追うように国務次官が訪ロした。情報を共有し現実的な話し合いが着々と進んでおり、今までとは違う、政治的解決への「熱意」が両国の関係者の間に生まれさらに共有されている。特に任期が迫っているケリー長官はやる気満々だという。訪ロ後の記者会見では 4 月 11 日から再び和平会議を開き、シリア政権と反政府勢力がいよいよ顔をつきあわせて政権移行の枠組みについて話し合うことになるだろうとケリー長官は語る。

長官の側近によれば、ケリー長官とラブロフ外相は「慎重ではあるが楽観的」な見通しを持っているという。なにしろ今後のスケジュールは 8 月までに憲法の草案と政権移行の枠組みを決定することで米ロが合意したという。シリアの内戦の終結を 4 年も長引かせたのはこの政治的プロセスで米ロが妥協をしなかったからである。それが昨年 10 月 30 日の和平会議から始まって 1 年も経たず憲法改正まで進むのである。

両国の水面下ではどのような交渉が行われているのかは推測するしかないが、ロシアの空爆参加が流れを変え、さらに 3 月のロシア軍撤退がアサド大統領への強い圧力になったことは間違いない。

シリアがどのような国に生まれ変わるのかは誰にもわからない。どのような国になるかはシリア国民が決めることであり、内戦で疲弊した社会を再構築し、難民が帰国できるような安定した国家に戻るには長い時間がかかるかもしれない。国際社会はシリアの再生に力を注いでいかなくてはならない。

懸念されることは、シリアで停戦が続くのと比例するようにイラクではテロが多発し、3 月だけで 3000 人以上が犠牲になっていることである。テロの問題はシリアの安定だけでは解決しないということである。

4月12日

もう一つの世界経済を晒したパナマペーパーズ

ドイツのメディアのひとつである Suddeutsche Zeitung と、ICIJ（The International Consortium of Investigative Journalists 国際ジャーナリスト調査協会） に、パナマに本拠地を置く法律事務所の膨大な内部文書とともに電子メールが送られてきた。その内部文書には、電子メール 1150 万件、顧客情報、銀行口座などが含まれていた。

その法律事務所はＭｏｓｓａｃｋ　Ｆｏｎｓｅｃａ　法律事務所（以下ＭＦ法律事務所と記載する）であり、1977 年に開設されたパナマでは有名な事務所である。この事務所はいわゆるペーパーカンパニーの設立や管理を主な業務としており 42 カ国に支局があり 600 人の従業員を抱える、この業界では世界で 4 番目の規模を誇る。顧客は 30 万社にのぼる。

その法律事務所の内部資料がリークされた。世界 12 カ国の現職首脳や著名人らがいかにペーパーカンパニーを経由して資産を隠し税金逃れをしているかがこのリークによって露わになったのである。アメリカのエコノミストであるガブリエル・ザックマン氏によると、世界の富の８％にあたる 7.6 兆ドルが税金を逃れており、その損失は年間 2000 億ドルになるという。ＥＵだけで 780 億ドル、アメリカが 350 億ドルの税金を徴収し損ねているというのだ。各国の当局が躍起になって隠し資産を追いかけるのもうなずける。

発端は 2015 年、ドイツから始まった。ドイツ当局は、ＭＦ法律事務所の内部告発者から情報を買い取り、同年 2 月にはコメルツ銀行を調査し始めた。すでにこの時点でＭＦ法律事務所に狙いを定めるようになっていた。またブラジルでも元大統領の汚職事件に絡みＭＦ法律事務所は当局の調査対象となり、ブラジル当局からマネーロンダリングをしていると見られるようになっていた。

資産隠しにはＭＦ事務所だけでなく、銀行の協力も必要である。ＨＳＢＣやバークレー銀行などが協力していることもパナマペーパーズで判明している。まさにもうひとつの世界経済とも呼べる。

アイスランド首相やイギリスのキャメロン首相、パキスタンのザリフ首相、中国の習近平国家主席、プーチン大統領、サウジアラビア王家などの現職政治家らの親族の氏名がこのパナマペーパーズで明らかになりアイスランド首相は辞任を表明、キャメロン首相は釈明に追われるなど政治問題にも発展している。MF 法律事務所の顧客らは眠れぬ夜を過ごすことになりそうだ。

今回のリークは史上最大のリークと言われている。2010 年にアメリカの外交文書がリークされたいわゆるウイキリークスや、アメリカの盗聴を暴露した 2012 年のスノーデンリークより遙かに巨大な闇を暴露したのである。ウイキリークスの暴露した情報は 1.7 ＧＢ（ギガバイト）だった。今回のリークは 2.6 ＴＢ（テラバイト）であり、想像を超えた情報量である。すべてを解明するには相当な時間がかかる。もうひとつの世界経済の全容とはいかないまでも一部が明らかになることを非富裕層は期待しているに違いない。